

取扱説明 (NSP2、3 シリーズ)

Nipron 製 NSP シリーズを安全に使用していただくため、機器設計やご使用にあたっては、次の事項にご留意いただくようお願いいたします。

この取扱説明は、Nipron 製 NSP2、3 シリーズ (以下、NSP) の取り扱い、および注意を記述いたします。本取扱説明には同時に使用するバッテリーパックに対する記述も含まれますが、バッテリーパックに対する詳細な記述は、バッテリーメーカー発行の技術資料、取扱説明書によるものとします。

1 ご使用についての禁止事項

- 分解や改造はしないでください。感電・火災の原因となります。
- 煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。このような場合は弊社にご相談ください。お客様が修理することは危険ですから絶対にしないでください。
- 開口部から内部にものをさし込んだり、落としたりしないでください。このような状態のまま使用しないでください。故障や火災の原因となります。
- 結露した状態で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 通風口をふさがしないでください。火災の原因となります。
- バッテリーパックを浸水のおそれのあるところには設置しないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- バッテリーパックの (+) と (-) 端子をショートしないでください。


2 設置

ケースへの NSP の取り付け

NSP は Intel ATX に沿った機械的仕様になっています。汎用のパソコン用ケース (ATX 用) にそのまま搭載することができます。取り付けに際しては、M3 (ミリねじ) を 4 本使用します。 (お客様にてご用意ください)

出力コネクタの接続

マザーボード用出力コネクタおよび各種デバイス駆動用コネクタを接続します。ATX 仕様に沿っている製品はコネクタ形状が定められていますので、吻合するコネクタに接続します。

 **注意** NSP の動作中はコネクタの挿抜を行わないでください。故障や感電の原因となります。

RS232C ケーブル の接続

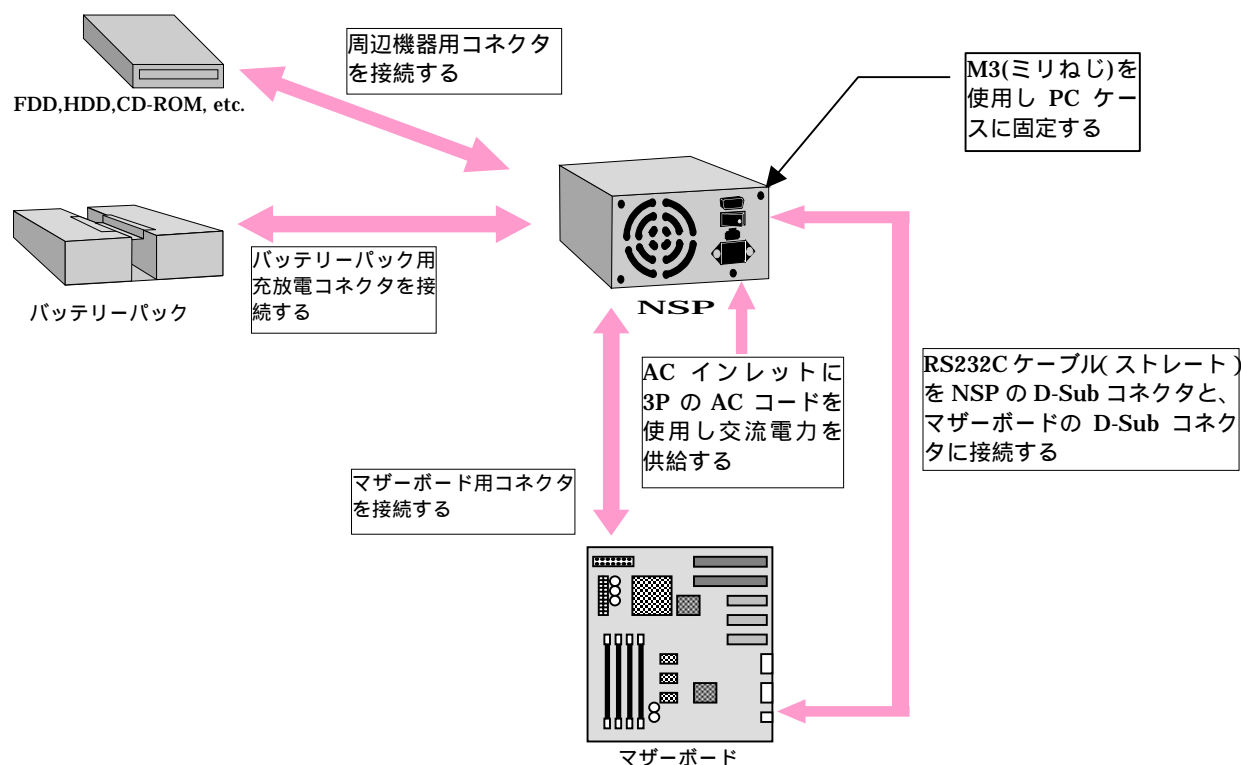
RS232C (D-Sub9) 経由でマザーボードとのやりとりを行う場合は、D-Sub (9Pin) メス - メスのストレートケーブルをご使用ください。

AC ケーブルの接続

3P-3P の AC ケーブルを接続します。 (お客様にてご用意ください) アース線を接地しない場合、仕様の性能を発揮できませんので、必ずアースを接地してください。

バッテリーパック の接続

NSP のバッテリー用ケーブルとバッテリーパックのケーブルを接続します。NSP に弊社標準バッテリーパック以外の DC 入力を行う場合は、別途ご相談ください。



オプション品となります。 (下記 “ オプション品について ” 参照)

3 電源の投入

NSP の電源スイッチの投入

電源が他の装置と正しく接続されていることを確認し、NSP の電源スイッチ (PC ケースに装着した場合 PC の裏側) を OFF から ON にします。本操作により NSP より 5VSB (スタンバイ出力) が出力されます。

パソコンの電源投入

パソコンのフロントパネルのスイッチを ON します。この操作により NSP の全出力が出力され、FAN が駆動します。また、バッテリーバック接続時はバッテリーバックへの充電を開始します。

4 電源の停止

パソコン側からの電源停止

OS、および PC マザーボードが ACPI/APM 機能を有している場合、OS 終了と共にパソコンが停止します。(5VSB 出力を除く全出力が停止します。)ACPI/APM 機能が無い場合、パソコンのフロントスイッチを OFF しパソコンを停止させます。このとき、FAN が停止し、また、バッテリーバック接続時はバッテリーバックへの充電を停止します。

NSP の電源スイッチの停止

NSP の電源スイッチ (通常のパソコンケースに装着した場合はパソコン本体の裏側) を OFF することにより 5VB 出力も含め、NSP の全出力が停止します。長期間パソコンを使用しないときはスイッチを OFF にしてください。



注意 ・NSP スwitchの断は PC が停止しても良い状態で行って下さい。PC 稼働中に NSP スwitchを断にすると PC に損傷を与えることがあります。特にハードディスク等の記憶装置が稼働中にスitchを断にするとデータ破壊の恐れがあります。

電源監視用プログラムについて

停電発生時にシステムを自動的にシャットダウンさせるためには電源監視用プログラムが必要となります。(バッテリーバック接続時)電源監視用プログラムは以下の通りです。

1 電源監視ソフトウェアを用いる方法

弊社が用意する電源監視ソフトウェア

「NSP pro for Windows 95/98」 「NSP pro for Windows NT」を用いる方法です。

対応 OS

Windows 95/98

Windows NT3.51/NT4.0

インストール方法

電源監視ソフトウェア同封の取扱説明書をご参考下さい。

2 無停電電源 (UPS) サービスを用いる方法

Windows NT 系 OS 標準の無停電電源監視サービスを用いる方法です。

別途 RS232C ケーブル (PS2601-01 : Windows NT、PS2601-02 : Windows 2000/XP) が必要です。

対応 OS

Windows NT / 2000 / XP

Windows2000、XP の場合、NSP2 シリーズは「NSP2-250-D2S7」を除き対応できませんのでご注意ください。

Windows2000、XP の場合、PC が ACPI/APM 機能を有している必要があります。

設定方法

・ Windows NT

スタートメニューから [設定] [コントロールパネル] [無停電電源(UPS)] を選択し、次のように設定して下さい。

“無停電電源装置がインストールされているポート” をチェックしポートを指定します。

“電源障害信号” を負に “戻り無停電電源シャットダウン” を正にチェックします。“バッテリー容量低下信号” はチェックしません。

[OK] をクリックするとサービスが起動します。

・ Windows 2000 / XP

スタートメニューから [設定] [コントロールパネル] [電源オプション] を選択し、次のように設定して下さい。

[UPS] のタグをクリックします。初期状態では UPS が選択されていないので [選択] [構成] の設定を行います。

[選択] をクリックします。

“製造元の選択” を「一般」、 “モデルの選択” を「カスタム」にし、“ポート” を指定し、[次へ] をクリックします。

“電源障害がバッテリー駆動” を負に、“バッテリーの低下” を負に、“UPS シャットダウン” を正にチェックします。

[完了] をクリックします。

[構成] をクリックします。

“すべての通知を有効にする” をチェックし、“電源障害が発生してから通知するまでの時間”、“その後の通知間隔”の時間を設定して下さい。

“バッテリー駆動開始から警告を発するまでの時間” をチェックし、時間を設定して下さい。

“次にコンピュータが行う動作” を「シャットダウン」にし、“UPS の電源を切る” の項目がある場合、チェックします。

[OK] をクリックします。

[適用] または [OK] をクリックするとサービスが起動します。

Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

オプション品について

1 RS232C ケーブル

RS232C(D-Sub9) 経由でマザーボードとのやりとりを行う場合に必要となります。OS が Windows95/98、NT であれば「PS2601-01」、Windows 2000、XP であれば「PS2601-02」をお選びください。

2 バッテリーパック

バッテリーパックをお使いになる場合は、弊社より販売中の NSP 専用バッテリーパック（鉛バッテリーパックとなります。）をお使いください。適合するバッテリーパックは「BS05A-P24/2.2L」（内蔵型バッテリーパック）および「RBS01A-P24/2.2L」（リムーバブルバッテリーパック）となっており、この2つのどちらかをお選びいただけます。

適合バッテリーパック型式一覧

型式	種類	容量	バックアップ時間	外形 W×D×H
BS05A-P24/2.2L (内蔵型バッテリーパック)	長寿命品縦横共用 5 インチベイ収納サイズ パソコン内蔵型	12V2.3Ah×2	約 5 分 (150W 出力時)	146×190×37
RBS01A-P24/2.2L (リムーバブルバッテリーパック)	長寿命品横置 5 インチベイ収納サイズ リムーバブル可能型	12V2.3Ah×2	約 5 分 (150W 出力時)	146×245×42

- 1: 指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。NSP およびバッテリーパックが破損する恐れがあります。
- 2: バックアップ時間は、充電状態、周囲温度、使用期間等によって異なります。

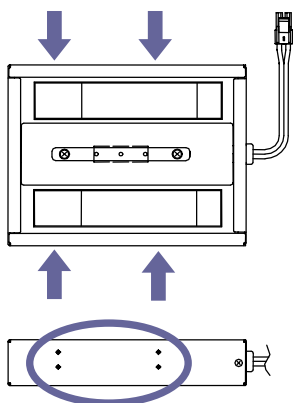
充電時間

空の状態から満充電（充電電気量 100%）までの充電時間は約 11 時間となります。
鉛バッテリーパックを空の状態（長期間保充電を行わない場合）にしますと充電しても十分に回復しない、またその後の使用においても十分な寿命が得られないことがありますので、ご注意願います。

取付ネジ穴の位置

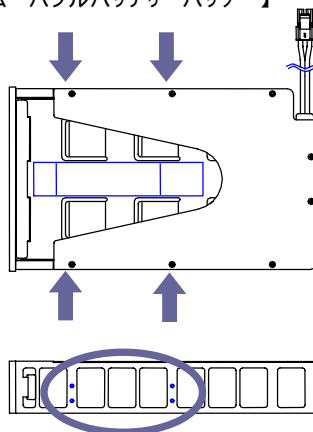
バッテリーパックをパソコンケースに取り付ける際は、下の 5 インチベイ用取付ネジ穴の位置を参考にして取り付けてください。
なお、詳細は各バッテリーパック外形図を参考願います。

【 内蔵型バッテリーパック 】



側面 4 箇所
(全 8 箇所)

【 リムーバブルバッテリーパック 】

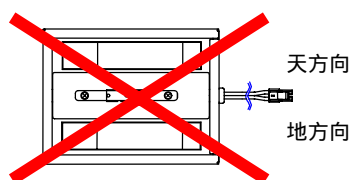


側面 4 箇所
(全 8 箇所)

設置方向

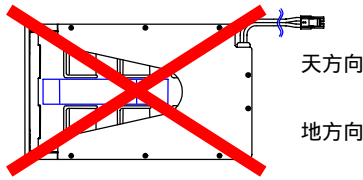
NSP 専用バッテリーパックには密閉型鉛蓄電池を使用しており、電池の構造の関係上、以下に示す方向には設置できませんのでご注意ください

【 内蔵型バッテリーパック 】

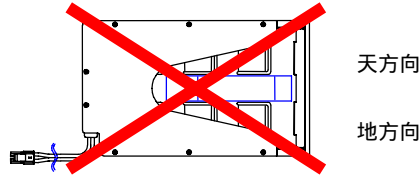


設置できません

【 リムーバブルバッテリーパック 】



設置できません



設置できません

バッテリーパック交換

バッテリーパックは、長期間使用しますと劣化が進み、充電しても容量が回復しなくなります。バッテリーパックの寿命は、使用頻度・放電量・使用温度などによって変化しますが、常温での使用で約 3~4 年程度となります。
バッテリーの交換が遅れた場合、バックアップが正常に行われなくなりますので、3 年を目安として定期的にバッテリー交換をおすすめします。

会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

このカタログに記載の仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。